



平成30年度ATR動物慰霊祭を行いました。

平成30年12月26日10時より動物実験関係する研究者およびスタッフ15名が参加し、動物慰霊祭を実施しました。



最初に、ATR動物実験委員会および遺伝子組換え生物等安全管理委員会正木委員長より、「研究の成果ならび進歩発展は犠牲となった数多くの尊い動物の御霊の上に成り立っております。本慰霊祭が、少しでも無用な苦痛と殺生を避け、研究を発展させるにはどのようにすべきかを考えてみる機会となればと思います。」と開祭のご挨拶がありました。



続いて、実験代表者として佐藤匠徳特別研究所佐藤所長より、「1年間でATRで使用された実験動物マウス1777匹、ゼブラフィッシュ3104匹、そのひとつひとつの御霊が安らかにご昇天されますことをお祈りし、謹んでご冥福をお祈りいたします。将来、人の疾病の早期発見、先制医療・予防医療につながる有用な成果が得られてきており、2018年度は、論文2報が掲載され、特許出願15件を完了し、特許4件が登録されています。」と祭辞のご挨拶がありました。



さらに、参加者全員で献花を行い、最後に、黙祷により御霊のご冥福をお祈りいたしました。

